

(令和3年5月試験研究業務月報)

試験研究課題：魚介類の種苗生産に関する研究

研 究

## 「丹後とり貝」育成用種苗の生産

京のブランド産品に認証されている「丹後とり貝」は、当センターで種苗生産したトリガイ稚貝を漁業者が約1年間丹精込めて育成し、厳しい出荷基準をクリアした貝のみに与えられるブランド名称で、京都府漁業協同組合を通して市場に出荷されます。

当センターでは、今年も5月6日から種苗生産を開始しました。室内水槽では、卵からふ化した幼生を20日間程度飼育し、約1mmサイズの稚貝を250万個以上生産することを目標にしています。この大量生産技術を確立しているのは全国でも京都府だけであり、「丹後とり貝」を世に送り出す上で、非常に重要な役割を担っています。

5月25日には、約1mmサイズまで育った稚貝を当センターの海面中間育成施設に移しました。この施設で約10mmサイズまで育てた後、府内4海域の「丹後とり貝」育成漁業者に配付する予定です。



室内水槽でトリガイ種苗を飼育



約0.2mmのトリガイ（浮遊幼生※1）

※1 浮遊幼生：ふ化後、約10日間は水中を泳ぎながら成長